

# 風吹くまゝ

## 〈2〉 酒と似顔絵

酒を飲むと気が大きくなる。

「よろしい！ わかった！ パッパツとやれば出来る！」

と、何事によらず安請負をしてしまう。相手は安心したかのように、

「おおきに、助かります、まあ一杯」

となる。前のカウンターで聞いていたママさんは、

「〇〇さんよかったわネ」

と、これまた、わが事のように喜んでみせる。物描きは案外単純なのだが、私は特にお世辞に弱い。

「センセでなければこういう物は他の人では描けません」と、言われればその気になってしまふ。

また、酒は自分の能力を過信させてしまう。後日になつて、

「これは大変な仕事を引き請けたものだ」

と、頭を抱え、取返しつかない口から出まかせの大声吐語を後悔するのである。脳細胞がもともと弱い生まれつきなのか、酔っているときはいとも簡単に物事を決めてしまっているようだ。

それというのも常日頃から豪放な人間に憧れを持っているせいだ、酒を飲むと虚勢を張ってしまうようである。これをアルコール依存型人間とでもいうのであろう。

もともと、チョコ一杯の酒で顔を真赤にしていた体質だから酒豪から見たら酒の量ははしれている筈だ。

その点酒は少量であっても、酒に弱い人間には、それなりに深酒となっているのである。酒がひとときでも豪放な人間的な気分にしてくれる妙薬だとしたら、少量で足りる人間にしたら一生を通じて度重なれば経済的に大きな利益となってくる。酒豪必ずしも豪放ならず、強い人は、その気分を味わうには、弱い人より金がかかるからお気の毒。

酒は飲んでも呑まれちゃならぬという。確かに、飲み過ぎて得をする事はない。意気がつて大言壮語して、翌日は、宿酔で頭を抱え、重くなった頭で、軽くなった財布を眺めるのが落ちだ。

わかっているやめられないのも酒「酒は量なし、乱に及ばず」と、心に決めては行くのだが、ついつい度を過ぎて後悔する。後悔しながら飲むのも酒。ある酒友





悪酔い安兵衛

は、

「そんなことはどうでもよい、酔わない酒など飲まん方がええ」

と、言われてみると、酒は酔うところに価値がある面も確かで、大言壮語は別として、口から出まかせのお喋りの中から名言？が飛び出したりする事がある。われながら自分の言葉に酔い、

「うわー今日はいい酒だノおい、やれやれノ」

と、調子に乗りっぱなしになる。ところが、こんな時の名言？（その逆もある）は殆んど覚えていないのである。アルコールが脳細胞をどう変化させるのかわらないが、似顔を描いてもそうだ。パツパツと描いた線が生きて動きと躍動していて、これ、また、われながら感心する事がある。酒が己を大胆にして、相手に遠慮がなくなり

どんなモデルでも呑んでかかれるからだろう。ところが、これも、最初の「一発」はよいのだが、後はダメ、描く気もなくなるし、線も乱れて来る。調子のいい時は「これだ、これだ」と、若い時代に会った今は亡き漫画の先輩近藤日出造氏が、

「似顔を描く時は相手が偉い人であろうとなかろうと、ナスビかカボチャと思って描けばいいんだ」と、言われた事を思い出したりする。それも、程よい酔心地がよいのであって「乱に及ばず」が最良なのである。

酒は恐さをなくす作用をしてくれる。四十七士も勇気付けの酒を飲み、特攻隊員も覚醒剤のようなものを与えられていたと聞く。酒にある種の麻薬的效果があるとしたら適当な処方が必要で、飲み過ぎたら、太刀捌きを誤り命取りになり兼ねない。東大の運動生理の宮下充正氏の「酒と剣道の試合」という一文に、ある剣道の達人に素面の時と酔っ払った時の勝負を実験したというのがある。大学生（三、四段）が次々に打ち込むのだが、素面の時には歯がたたなかったものが、完全に酔った時の試合は、やはり完敗であったという。剣道の無念無想と酔態とは、どうも違うらしい。

また、高田馬場の中山安兵衛が十八人斬りをしたのだが、これも色々説があるという。途中で穴八幡の酒屋に飛び込んで迎え酒を飲んだというのと、途中の茶屋で水を一杯ひっかけたのだというのがある。水は二日酔いを覚すためのものだが、酒を飲んだとしたら、その迎え酒は適量であったに違いない。それも、安兵衛ほどの剣客だったら、章駄天走りでの血圧の上昇も計算の上の適量だったと思いたい。そうでなければ十八人も斬れる筈がないということになる。深酒をして得をしたことはない。今の若い人には安兵衛願望なんてないだろうが、安兵衛も腕は違ったが宵の深酒がたたって、伯父の助太刀には間に合わなかったのである。

「まあまあ、そんな事はどうでもええ。一杯いこかノ」

酒と料理を提供する人のための経営専門誌

# 居酒屋

第8号

別冊食堂 定価2400円

●A4変型判270頁(〒300)

●創作居酒屋料理(ハジ)

●居酒屋料理研究(ハカラゲラビアン)  
●こんやく料理(ハ工夫したいでバラエティ豊か)

●酒と料理の研究シリーズ

●独立企画 小規模店独立開業事例

●和洋大衆居酒屋の  
オリジナル超人気商品

現代消費者の飲酒動機・飲酒行動を鋭くみすえ、独自の店づくりと経営手法によって客を吸収する居酒屋9店を選び、詳細に分析研究

特別企画  
急変するマーケットに果敢に対応する注目の業種・業態  
**新店新商法9事例**



柴田書店 東京都文京区本郷3-33  
☎03(813)6031(代)



## 走馳春魁



春さきかけの色。

真紅の兒事な但馬産黒牛の極上肉を  
“焙るがごとく、焼きあげた  
至芸<和黒ステーキ>。  
グルメの春、香り高いワインとともに  
心ゆくまでご賞味ください。

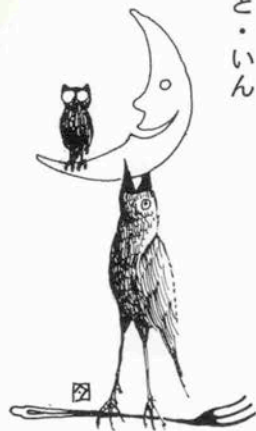
■北野コース… ¥8,500 ワイン/前菜/スープ/サラダ/ロース(又はヘレ)160g/コーヒー(又は紅茶)/パン(又はライス)

■和黒コース… ¥12,000 ワイン/前菜/スープ/サラダ/ロース(又はヘレ)200g/アイスクリーム/コーヒー(又は紅茶)/パン(又はライス)

※その他のいろんなバラエティのあるメニューをご用意しています。



〒650 神戸市中央区中山手通1丁目24-1 ヒルサイドテラス・1F  
☎(078)222-0678 ■営業時間 12時-23時 ■定休日 水曜日



★キングス・アームス

創立31周年記念パーティー  
フラワーロードの三角屋  
根でおなじみの英国パブ・  
レストラン「キングス・ア  
ームス」(奥平光社長)が、  
31周年を迎え、昨年の11月  
26日創立記念フリードリッ  
クパーティーが開かれた。



賑わった31周年記念パーティー

午後5時〜9時まで、常  
連の中の常連客が集っての  
このパーティーは、いかにも  
パブらしく自由に、キング  
ス・アームスの英国風を楽  
しんだ。

マネージャーの山本直樹  
さんは「新春から、今後の  
2時から4時を女性の皆さ  
んのクラス会や会合に、コ  
ース料理(スープ・魚・肉

・デザート・コーヒ付き税  
込み¥3,000)を予約  
制で企画していますので、  
ぜひご利用下さい。4名以  
上20名様迄OKです」と新し  
いプログラムで、女性客に  
アプローチしようと張切っ  
ている。☎078(221)3  
774

★あなたもスターにノミ  
ュージックイン五木オーブ  
ン

いままでのカラオケのイ  
メージとは一変したエンタ  
テイナーのための本格派歌  
謡ホール、「ミュージック  
イン 五木」△観アトリエセ  
ツ小野原啓次社長Vがオーブ  
ン。オーディオシステム、照  
明の演出効果も抜群に凝っ  
ており、マイクを持って歌  
えばスターになった気分が  
満喫できる。飲みものはフ

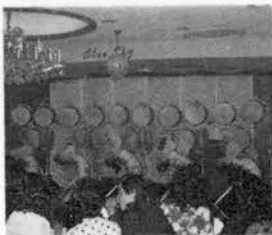


五木ヒットパレード

リーディングシステム  
何曲歌っても手頃な定額料  
金で楽しめるのが嬉しい。  
6:00PM MIDNIGHT中  
央区加納町4丁目8-1(第2北上  
ホテル地下) ☎39110236

★美人揃いの本場のショー

韓国ムードをリッチに満喫  
極彩色の美しい韓国のチ  
ョゴリで「扇の舞」や「太  
鼓の踊」を舞う本場の美女  
達のショーと生演奏。そし  
てプロンズの可愛いパニ  
ーガールが、憶えたての日本  
語で「コンバンワノ」。



韓国のムードがいっぱい

国際港都KOBEBEにふさ

わしい、エキゾチックなメ  
ンバーズクラブ、ブルーチ  
ェーンズ、東門筋のゼウス  
タウン6Fに、「メンバー  
ズブラザ・ブルースカイ」  
と3Fに、「メンバーズパ  
「ブルーベル」(中央区下山  
手通2丁目16-8新興ビル  
3F ☎078/331V2  
809)を、12月10日に  
penした。

入会金(個人会員4万円+保証金6  
万円)10万円/法人会員14万円+保  
証金16万円/30万円/セット料金は一  
万二千円、ビジター二万二千円。

●神戸うまいもん  
とドリンキング

手打そば  
堂 賀

中央区加納町3-4-10  
☎392-1043

「日本の料理とは素材そ  
のものの命を食べている  
ような気がします」と語  
る店長に、久しぶりに本  
物の職人に出会ったよう  
な気がした。「うちのそ  
ばは、手でこねて、手  
のばして、手で切ってい



堂賀のそば寿司

ます」本当の手打そばで  
ある。そば粉は、国産の  
良質な、しかも石臼でひ  
いたものしか使わない。  
機械による粉ひきは、高  
温と酸化で自然の風味を  
そこなうからである。こ

の一事だけでも職人氣質  
を感じる。五卓しかなく  
小さいが、そば通の店だ。

営業時間12AM-2PM 6P  
M12AM 日曜祭日休 田舎  
そば600円、さらしな650円  
けしきり、ゆずきり各七00円

# SPECIAL MESSAGE

## 神戸百店会だより



ムーディーなパーティー

### ●ショップピックス

★国際会館のベニ毛皮店は2月6日・11日まで、ラストセールを行います。今冬最後のチャンスにぜひお立ち寄りください。

★三劇東側にオープンした三宮ヒズ&ハイズショップ1F内、ニューメイフアミアリアがオープン人氣ものの&スヌービー&ビターラビット&ファーマッチ&シリヤーズなどを集めたキャラクター専門店です。ワクワクするようなヤングのTシャツ・トレイヤーからブラウス・スカートやぬいぐるみ・バッグ、かわいイステーションナリーなどいっぱい揃っています。☎33111555

★和菓子二つ茶屋は、現在元町1番街の店を新築工事中ですが、3月には完成予定です。

★ユーハイムのバレインのテーマは「こころ、重ねて……愛」です。¥2000・¥2,000で15種類のチョコレットをご用意しています。素敵な彼にプレゼントして下さい。

★須磨パティオ専門店1番館のラスカード・デリ名谷店が改装オープン。パンを焼く釜と醸酵させるホイロが売場に設置され、パンの焼きかたで度もグリーンとアップ。スペースも増えて150種類ものパンが並んでいます。イーティングコーナーではフレッシュな味をその場で味わえます。

★風月堂よりバレインタインデーに向けて新発売された Moment Champagne (モマン ダンブレ) ¥1,000。洋酒によく似合う甘さをおさえ、たすいチョコレットです。包装もアダレト向けのシャレトなので、高級ネクタイ



のよう。

★ファミアリア北野坂ハウスでクリスマス・イン北野北野町で楽しく繰り広げられた北野クリスマスフェスティバル'81の初日12月19日、ファミアリア北野坂ハウスでクリスマス・イン北野と題して観光客も交えた賑やかな催しが開かれた。



雨にも負けずメリークリスマス

この日あいにくの雨の中をプレゼントを配って回ったサンタさんやカナデアンアカデミーのバンド、聖歌隊、久々に登場したポートピアのお巡りさん、ぬいぐるみ、観光客、北野の各商店主などが集まり、新井宗

平さんの司会でオーブニング。聖歌の演奏されるなかをキャンドルサービスの灯がともされ、最後に名物の大きなモミの木に電飾が鮮かに輝いてムード満点。クリスマス気分が盛り上がった一夕でした。

★トゥー・ラブ・アゲインに酔いしれた夜

カーメン・キャバレロのピアノ演奏に耳を傾けながら、パートナーと素敵なクリスマスパーティを——とセンタープラザ3Fが本店の株リザ(畑崎敏敏社長)が12月18日(金)の夜、神戸オリエンタルホテルでディナーショウを開催した。

280名で大宴会場は満席、畑崎夫妻や当日の抽選賞品の提供スポンサー、田崎真珠の田崎俊作社長やアシリー・シャルパンティエの蟻田尚邦社長らの姿も見え、着飾った紳士淑女がテーブルを囲んだ。

志摩夕起夫氏の司会でカーメンキャバレロがスタンダードナンバーを次々と披露。ラストは「愛情物語」で大ヒットしたトゥー・ラブ・アゲインの調べだった★コットンが主流

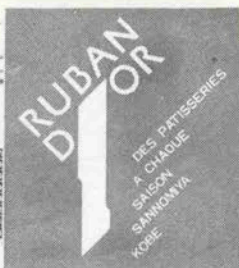


ニュー感覚のイゾセル

淡いグリーンやアースカラーを中心としたTシャツブルゾン、短かめのパンツが新しい感覚だ。

フランスの高級ブランドデザイブルのスポーツライオンとして、イゾセル(ISOCELE)がこの春よりヌーベルサノへにお目見えする。素材はコットンが主流で、軽快なシルエツトが楽しいコレクションだ。ヌーベルサノへの都開店長は

New Face



「なかなか雰囲気があるブランドで、春先のちよっとしたお洒落におすすめしたい」と話す。因みにイゾセルとは二等辺三角形の意味だそう。

ISOCLE  
ブルゾン(縮100%) 95,000円  
Tシャツ(縮100%) 35,000円  
パミューダパンツ(縮100%) 48,000円

★ギヤラリーはりしんで備前 // 和仁正興個展  
元町3番番のギヤラリーはりしんで、12月10日〜12



和仁正興さん

月15日まで、備前焼の和仁正興個展が開かれた。和仁さんは、昭和42年、金重陶陽に入門、陶陽没後道明に任せ、又、金重素山の薫陶を受けた。津山鏡野に窯を築き、50年初窯を出し、以来、年1回くらい

火入れて作品を作っているそうだ。

今回の神戸での個展は、岡山、三原に次いで3回目とのこと。

「備前焼は使いこめば、いいこむほどその味がでてるものです。展示してある作品ではまだよそよそしい感じがします」という和仁さんの言葉に作品への思い入れが感じられた。

ギヤラリーはりしん/中央区元町通3-10-13 電話(078)331-2516

★新しいケーキが誕生

ケーキの専門店「リュバンドル」が、二店同時にオープンした。四季からの贈りものが「ギヤッチフレーズ」で、フランス菓子の製造技術をベースに新鮮な旬の果実と野菜を素材として生かした、これまでにないまったく新しいケーキの誕生だ。吟味に吟味を重ねた品質と味、シャレたデザートなどケーキ好きの神戸っ子にとってはまたとない朗報。

午前10時から夜1時まで営業というのも「深夜族」には有難い店だ。

△プティックV

神戸市中央区北長狭通1-20-1

電話(078)392-3331

△アトリエV

神戸市中央区加納町4-7-7

電話(078)392-3332

新製品コーナー



ジャストマリッドセット ¥2,000

●モロゾフより新発売のブライダルスイーツ

ブライダルに最適なスイーツが10種類。結婚式の引出物に白いチーズケーキ(¥2,400)、ハート型モールドチョコレートにファンシーチョコレート詰め合せたハイメニール(¥1,500)、ホワイトとピンクのハートボックスに詰め合せたジャストマリッド(¥1,000〜¥2,000)、クリスタルガラスのキャンディポット入りファンシーキャンディはウェディングベル(¥3,500)。披露宴のちよっとした演出には、ハート型チョコレート2個をあしらった二つ折りのウェディングカード(¥150)やキャンドルサービスにキャンディ2個をおしゃれに包装したスイートゥ(¥100)をご利用下さい。



ウェディングベル ¥3,500

## ポケット ジャーナル



### ★頑張れ！ ミナト神戸

今年も客船が十九隻

ここ数年來、外国客船の神戸入港数は低落傾向にあったが、今年も過去六年間で最高の延べ十九隻ということになり港灣関係者の顔が明るい。



2月にやってくるキャンベラ貿易観  
光課では船会  
社や旅  
行代理  
店など  
との関

係を密接にし、旅客の要求に可能なかぎり応じているという地道な努力を続けてきた。例えば箱木千年家などの新しい観光ルートの開発、醤油工場や造船工場見学の仲介、客船の歓迎や案内をする「ブルーエッジエルス」の募集等。これらの努力が実ったの今回の成果と思われるが、客船の入港は港を活気づけ、港町神戸

のイメージアップにもつながるため、これからも頑張るってほしいものだ。  
なお外国船入港予定日は次の通り。

- ・2/26、2/27 キャンベラ (英) ・4/7、4/8 ミンファ (中国) ・4/22 ロイヤルバインキングスカイ(ノルウェー)
- ・4/30 マキシムゴルキー(ソ連) ・5/27、5/30 ユニバーズ(リベリア) ・6/9、6/10 フェスター(リベリア) ・6/19 パールオブスカンジナビア(バハマ) ・7/6、7/7 ミンファ(中国) ・7/17、8/14、9/11 パールオブスカンジナビア(バハマ) ・9/18 ツルクメニア(ソ連) ・9月中旬 ユニバーズ(リベリア) ・9/22、9/23 オリアナ(英) ・9/27、9/29 ツルクメニア(ソ連) ・10/7、10/9 ロイヤルバインキングスカイ(ノルウェー) ・10/7、10/9 ツルクメニア(ソ連) ・10/9、11/6 パールオブスカンジナビア(バハマ)

### ★梅の香ただよ庭園で

野点などはいかが

そろそろ梅だよりが聞かれる時候になったが、北野天満神社では、野点の道具を無料で貸しだしてくれ。その道具もすべて梅の



観梅しながら野点を

模様が入るといふ念入れようだ  
また野

点とは別に無料の茶席も用意されている。紅白の二本の梅が咲きほこる庭園への入園料は、抹茶とお饅頭がついて三百円。見頃は三月の下旬になりそうだ。

その他に神戸近郊の梅の名所をいくつかあげると、鉢伏山(山陽須磨浦公園駅) 林湊寺(神鉄有馬温泉駅) 保久良神社(阪急岡本駅) 中山寺(阪急中山駅) 甲東梅林(阪急甲東園駅) などがある。

★半どんの会文化賞受賞会  
昭和56年度の半どんの会文化賞、その贈呈式と兵庫県文化賞受賞者をお祝いする会が昨年の12月23日大丸神戸店の七階大食堂で開かれて、約300名近い人々が集った。

現代芸術賞の谷村礼三郎



半どんの会の受賞式

和田英子、倉地与年子、和田悟朗、上尾忠生、上

### 誕生日 ありがとう 運動



啓発映画の完成!!

本運動が製作を進めていたちえおくれの問題の啓発映画「小さな輪・大きな輪」が、この三月に完成いたします。

この映画は、ひとりのちえおくれの子どもの生活を中心にして、幼児期から成人までの問題について考えていきます。

そして、ちえおくれの問題について、無知無関心から生じる誤解偏見・差別をなくしていきたいと願っています。

また、この映画の企画・撮影・編集等すべてが、ボランティアの手づくりというのもひとつの特長です。

題名「小さな輪・大きな輪」  
体裁 ハミレットキー カラー  
上映時間 約三十分  
上映対象 一般市民  
無料貸出し

八ミリ映画ですから、手軽に上映できます。その上に、撮影ボランティアの方の撮影技術が優秀ですから、大ホールでの拡大映写も可能です。

だから、小さな家庭集会から大ホールでの集会まで、どこでもご利用いただけます。

みなさんのグループや職場や学校などで、どんな形でも利用してください。そして、ちえおくれの問題をみんなで考えていきましょう。

貸出しの間合わせは左記まで  
誕生日あがり運動本部

51神戸市中央区御幸通八一―一六  
神戸国際会館一階の郵便局の隣  
電話二五一八六一―内線三二六

羅芝山さん。文化功労賞、  
県民感謝賞の中島信太郎、  
林喜芳、伊藤誠、井上重義、  
山岡哲山、劇団「椎の夷」、  
及川記念作品賞の服部洋  
介、佐治田鶴子、藤井栄、  
山田文宏。芸術奨励賞の綿  
貫墨石、吉田収さんら17人  
1団体を受賞したが、その  
賞の幅広い選択に敬意を表  
したいもの。

★「赤尾兜子全句集」刊行  
昨年3月逝去された「渦」



▲赤尾兜子さん主宰の赤尾  
兜子さんの  
句業をまと  
めた「赤尾兜  
子全句集」が立風書房より  
刊行された既刊句集「稚年  
記」「蛇」「虚像」「蔵華集」  
とそれ以後の未刊句集「玄  
玄」7百句を含む全作品が  
収録されており、赤尾恵以  
小泉八重子による年譜、和  
田悟郎のあとがきが添えら  
れている。

3月22日には、この全句  
集の刊行を記念して神戸国  
際ホテルで赤尾さんの一周  
忌と出版記念会が開かれる  
定価7000円(〒400円)、予  
約受付中(郵便振替口座、神戸六  
一四二四九、小泉八重子宛)

★芦屋倶楽部文学賞決定

地域文化の向上をめざす  
芦屋倶楽部が、機関誌「芦  
屋倶楽部」で募集していた



喜びの受賞者たち

文学賞  
が決定  
し、去  
る12月  
14日、  
同倶楽  
部にお  
いて、

第一回の授賞式が行なわれ  
た。芦屋倶楽部文学賞と名  
づけられたこの賞は、掌編  
小説を対象としており、東  
山緑さんをはじめ関西文学  
編集委員会が選考に当った  
同賞は、対内外のコミュニ  
ニティ活動を通じて市民生  
活の向上を推進、文化社会  
の発展に寄与すること〃を  
目的とした同倶楽部が多彩  
な活動の一環として設けた  
ものだが、今後のなりゆき  
が注目される。受賞者なら  
びに受賞作は次の通り。  
金賞 福山愛子「再び」/銀賞  
長井治子「壁土」/銅賞 渡辺登  
志子「五月の風の中で」  
なお受賞作品は12月20日の同  
誌に掲載された。

★町の発明家に交流の場

技術立国をうたう我が国  
で大切なのは、アイデア、  
発明の生かし方。近年、主  
婦などの発明熱がさかんに  
なっているが、お互いの着  
想を持ちより合い情報交換  
を図るための殿堂「神戸発  
明会館」(鎮静義明会長)  
が11月18日に誕生した。運



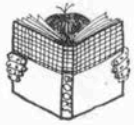
神戸発明会館、右下は  
鎮静さん

営の主体になる神戸発明研  
究会は発足して14年、2百  
人の会員を中心に幅広く活  
動を続けているが、この新  
館で日曜発明学校(毎月第  
2日曜)、各種相談などを  
行うほか、2月には婦人に  
よるアイデア展、4月から  
は子供発明教室などを予定  
している。入口には会員の  
三原順彦さんの手になる創  
造と愛をテーマにした「ひ  
らめき観音」が飾られ、2  
階は常設展示場・書庫、3  
階は講習会場として利用さ  
れる。

★ヒゲをはやした若者が

「神戸ヒゲクラブ」結成  
現代のヒゲは権威主義の  
権化でもなく、自己主張で  
ある、と、ヒゲをはやした  
若者が集まって「神戸ヒゲ  
クラブ」が発足。昨年12月  
11日、中山手のティファア  
ナで発足会が開かれた。地  
域文化の向上に寄与すべく  
価値ある情報の交換を行う  
ことを目的とする親睦会で  
外国人も含めて職種もまち

図書  
ガイド



朝日新聞記者の証言6  
上方記者五十年  
林田重五郎



朝日の記者として昭和ヒトケタ  
の頃から半世紀にわたる取材生活  
の思い出を当時の記事をはきみな  
がらまとめたもの。「京阪神を主  
に、ちまたで町だね探しを続けた  
しがない一介の記者の記録」と謙  
遜されるが、庶民の各時代の暮ら  
し、風俗を取り上げて見事に表現  
している。特に冒頭のダンスホー  
ルの話は秀逸。昔の新聞の文体と  
いうのはそれにこそハイカラだ  
(1300円・朝日ソノラマ)

タウン誌全国カタログ



タウン誌は見えない雑誌だ。全  
国に四百種はあるといわれるタウ  
ン誌に全て眼を通すことには不可  
に近い。しかしタウン誌こそが今  
日、それぞれの地域に足場をつく  
り、そこからの肉声伝えてくれ  
るメディアでもある。本書は文字  
通り全国百七十九誌を丁寧に紹介  
してくれ、全国の人に見られるこ  
とのないタウン誌たちのお祭りの  
ようなカタログ本である。  
(870円・毎日新聞社)

# KOBE POST

★2月9日より一週間、東京日本橋の三越本店で石版春生展が開かれます。

★兵庫東洋南庁舎保存運動の記録—旧兵庫東洋南庁舎保全・再生への道—旧兵庫東洋南庁舎保存問題関連資料報告書—パンフレットが、神戸の建築を考える会”より昨年12月25日に刊行されました。

（価格2000円・送料250円）

★1月11日創造共和国、建国2周年記念パーティが、ホテルプラザ醍醐の間で開催されました。創造共和国大統領大高猛、事務局長・大阪市福島区福島5丁目17番22号 電話06-65813389

★神戸新聞社の有井基さんが、このほど、兵庫の伝説を上梓されました。800円。装丁・増田正和、照字・村上翔雲、絵・のさきじょーいさん。

★俳人の平松治子さんが、第二句集「海国」の出版記念会を1月17日野屋市民会館で開催しました。

★K.F.S.会員で、ブティック・コインの店長笹雅琴さんが古川幹の社長古川周二さんと2月7日神戸ポートピアホテルでゴールイン・ハネムーンはハワイとか。

★神戸大丸のパブリシティ担当の司宮篤子さんが、大阪電研工業の吾郷博明さんと1月31日に、宝塚ホテルで挙式。新婚旅行は北海道。

★M.A.C.の植村孝一社長は、次男仁君が、昨年の12月9日生誕。★月刊神戸子編集室の花・杉山優子さんが、1月30日大阪ロイヤルホテルで、丸紅の深江信博さんとゴールイン。新居は〒558神戸市東灘区深江北1-7-1 20西戸屋グリーンハウス

★作家藤野辰三さんのお嬢さん由果さんが2月27日王康義さんと結婚されます。おめでとー！

★日本リクルートセンターの高橋順滋・京子夫妻に12月25日長男順平君が誕生。

まちの12人でスタートしたが、ヒゲ面が並ぶといささか異様な雰囲気。活動は月例会を中心に進められ、その内容はこれから決めていくが、ヒゲのあるゲストを招いたりして、時にはアカデミックに、時にはバカバカしくやっていくという。



ヒゲ男大集合ノ

会長や代表者はいないグループだが、月例会などの出席は義務とされ、欠席の場合はいかなる場合を問わず5000円の罰金制度を設けたまっただお金は年度末に福祉施設に寄付するという。

## ★神戸バプテスト教会でジャズ講談会調子

神戸デキシードジャズ協会では、趣向をこらした例会を繰り広げて楽しんでいるが、昨年12月19日に開かれた第18回例会は、教会でジャズ講談を聞こうという企画。神戸外国倶楽部でハッピーにデキシードを楽しんだ後会場を異人館通りの神戸バプテスト教会に移

らなっている。



## 花時計

羽ばたけ swing

1982年の幕開けである。神戸がファッシュン都市を志向して、10年を迎えることになる。

その劈頭を飾ってK・F・S△△コウベ・ファッシュン・ソサエティ△からファッシュン雑誌「swing」が創刊された。年2回発行されること



小南陵さん

して「第二次会」。一昨年同教会で「古き十字架」のレコードを作ったニューオリンズ・ラスカルズの演奏する讃美歌の合間に名調子を披露したのは、講談界若手実力派といわれる旭堂小南陵さん。タキシード姿で登場し語るはジャズのパイオニア「バンク・ジョンソン物語」。末広光夫さんが書いた台本をもとに熱演30分。満席の聴衆を魅了した。

特筆されるのは毎月の

例会講座、春秋2回の公開講座、会員、米田博司さんの提案による「身障者のためのファッシュン」などの活動である。

このK・F・Sが総がかりでつくったファッシュン雑誌「swing」が発刊された。熱気が伝わってくる編集である。

神戸から発信されるファッシュン誌がひとつ増えたことになる。こんな積み重ねが、ファッシュン都市づくりの貴重なエネルギーになる。

# 神戸になぜ国際空港が必要なのか、 この一冊でそれが分ります——。



開港以来110年営々と築いた港と共に  
神戸は発展してきました。

国際化時代を迎えた今日、長距離交通の  
要は航空機になってきました。

このすばらしい神戸の街をさらに発展さ  
せ文化の高揚をはかるべく積極的に空港  
問題を考えることが、私達の子供達への最  
大の贈物ではないでしょうか。

## ＜内容＞

神戸のまち、港の生いたち 神戸開港と居留地物語  
開花した多様な神戸文化 港とともに繁栄する神戸  
転換期を迎える神戸 明日の神戸をデザインする  
インタビュー・明日の神戸と空港  
座談会・神戸に必要な国際空港  
世界の都市と空港 航空技術の発達とその変遷  
神戸青年会議所は神戸沖国際空港を提唱する

## ●全国主要書店にて好評発売中

- 編集/(社)神戸青年会議所 ●発行/コミュニティサービス㈱
- お申し込みは 〒650 神戸市中央区江戸町100 高砂ビル510  
コミュニティサービス㈱ TEL.078 (392) 0200

「海から空へ——神戸と新国際空港」

A5判 256頁

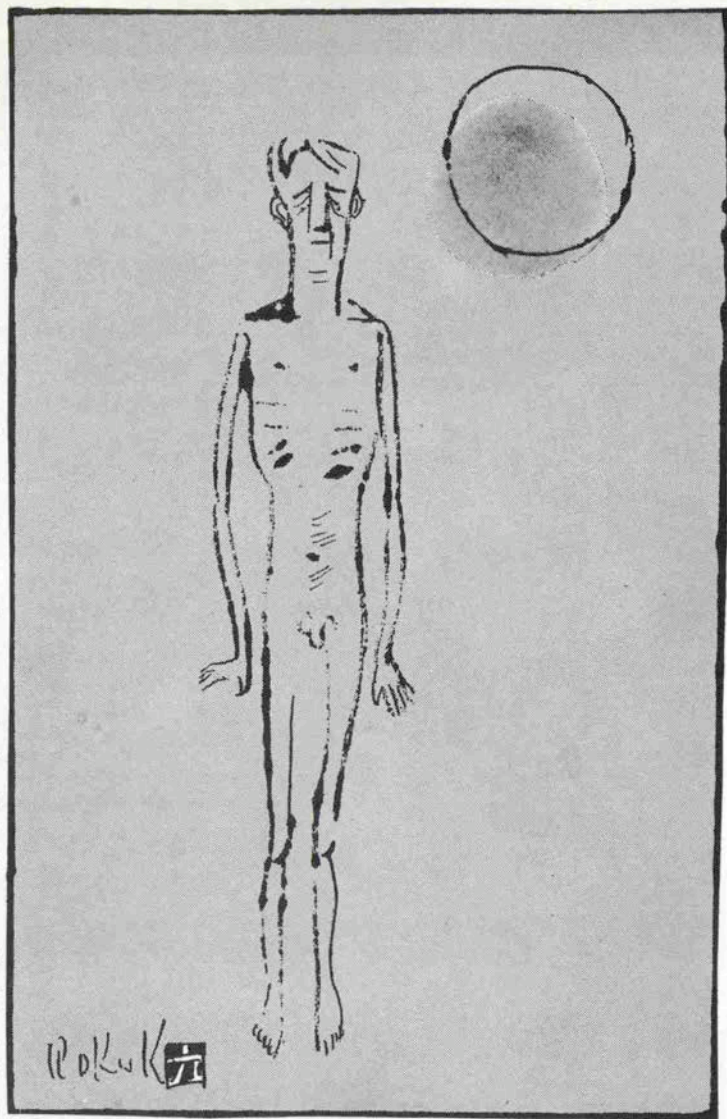
定価1,000円

(〒)250円

# 海の枢

菊池 佐紀

え・貝原 六一



よだれがとろり、と落ちてくる。老人の口許をふくが  
すかさずガーゼで拭った。冬太郎のすでに矜りを失って  
しまったほうけた顔付を見てみると、この男から捨てら  
れかけて、死のうとまで思いつめたことがあったなどと  
は自分でも信じられなくなる。あの精悍な、首筋をしや  
んと立てた美しい雄の姿は、肉体の衰えと一緒に魂まで  
恍惚の境地にのめり込んでしまった今の冬太郎からは窺  
い知ることはできない。目の前でびちゃびちゃ歯ぐきを

鳴らせている、骨に洪皮を張りつけた老人から、愛と憎  
の烈しい鏝せり合いを演じた遠い昔の男と女の関係など  
考えられもしないのである。正氣に戻った時は、冬太郎  
は過去を克明に記憶しているとふくは言うが、二人の古  
傷をふくが気付いていると思われるふしはなかった。知  
っていて知らぬ顔を演技できるふくではなさそうだっ  
た。流石に冬太郎は口をつぐんでいるのだろうか。それ  
とももう、遠い過去のことを老人はきれいきっぱり忘れ

ているのかもしれなかった。その方が佐知子は氣持の負担が軽くて済む。

二カ月前に訪れた時、ふくが割に合わないと思はれたのが頭の隅にひっかかっている。そう言ってもふくの言い方に毒は含まれていなかった。ふくが好人物であるだけに、あんな厄介な老人を世間並みよりぐんと安い賃金で任せているのが氣の毒に思えていた。なんぼほしいとは申しませんが、はい、あんな嫁と一緒に顔つき合せて暮すくらいならここに置いて貰う方がいいんです。ええ、そりゃあ、なんぼかましです。そう言ってもふくは三年前から付添に住み込んだのだったが、冬太郎ほどのひとくせある男がふくには妙に氣がねしているところがあって、今朝の電話もふくの留守を狙って掛けて寄せたのにちがいがなかった。

引越して来て間もなく始まった下腹の鈍痛はいつまでも続いた。鎮痛剤を買って飲んでみたが効き目はあまりなかった。一日中不快な症状が続いて廻る。

半年もその上も続く鈍痛との長い格闘に抗し切れなくなって、それでも要には言い出しそびれたままでのろのろと電車に乗って市街へ出かけ、医者に診て貰った日の午後、佐知子はデパートの食料品売場をほつき歩いてきた。別に食べものを買う積りで来たのではなかったのだが、診察室から出たので、まっ白い、真空の頭のまま、なんとなく、病院の隣りのデパートに這入り、めかしこんだ女たちの群れと一緒にエスカレーターで五階まで運ばれ、もう昇って行き場所もなさそうなので仕方なしにまた、自動的に地下まで降りてきてしまったのだ。牛肉の売場の横に魚が並んでいた。

びかびか神ごうしい鯛などに興味はなかった。剣先鳥賊が樹の中に縦隊に並んでいる。うすい皮膚が収縮を起すたびに紅い斑点紋様が大小の渦巻を画くのをぼんやり見ていると、さつき金属の棒で引く掻き廻された腹の中がぎり、ぎり、痛んできた。このまま鳥賊の前で蹲って

しまいたくなかった。我慢して、なにげない顔を作って鳥賊を眺めるふりをしていた。四、五十匹は居る。いかは透明な細身の裸身を互いに食っつけ合せて、伸びた手足の先から泡を吹き上げてもがいている。

子宮筋腫ですね。中年の肥った医師は佐知子の顔を見ないで言った。一カ月以内に手術した方がいいですよ。放って置いたらロクなことにはならない。

「ぜんぶ摘るんですか？」

佐知子はおびえた声をあげた。

「あなた、いくつ？ あ、四十二、ね。まだ若いから下の方だけ残しとこうか。もっと年取ってたら完全摘出の方が後くされがなくていいんだが、それじゃ性生活に障ると拙いから少し残しとこうかね」

鳥賊は生きていた。喘いでいる。一呼吸するたびに透き通った肉の表面にさざ波が立って、微妙に色が移ろった。なかに黒い臓もつを抱えているのが判る。腹の中のしきゅうも動いているのだらう。急に惨忍な氣持が佐知子に衝き上げてきた。手足と胴体の繋ぎ目に指を突っこんで掻き廻してやりたい。それとも、殺さないで生きたまま、べろっと裏返しに引きむいてみたい。ひき裂かれた鳥賊の腹部から出てきたものは、雄は好色な、は、ら、わ、た。雌はしきゅう。年若いいかの子宮は少し残しておいてやろう。男から捨てられないように。鳥賊の腹を裂くと手が墨のいろにどっぷりと漬る。にんげんの腹をひき裂いてめしを食っているあの猪首の医者の手も真っ赤に染まる。石鹸でごしごし洗って皮膚が破けるほどこすつても血の色は落ちやしない。血とはそういったものなのだ。あの男はあたしのおなかの中からなが出てくるか楽しみにしているのだ。腐った子宮。りんご大に膨れ上った瘤状の子宮を見つけて歓声をあげる。ほかには一切れの思想も出てきやしない。

「なに差上げましょう」

魚屋が焦れつたそうに催促した。そう言えばさつきも白い上っ被りのこの男は同じことを言っていた。ぎ、

く、ん、と正気に戻って鳥賊の前を慌てて離れると、人混みが吐き出す紫いろの吐息の中を泳いで、佐知子はデパートを出た。出口に陣取った化粧品売場でまっ青なマスカラを張りつけた女の子が、奥さま、少しお化粧直して行かれませんか、お化粧崩れがしていらっしやいます。と声をかけてくれる。

もうすぐ、からだをべろっと裏返しにされる中年の女に、青だの赤だの言った化粧品がどうして必要なのだろう。べつとりと厚化粧して、唇の肉をぶ厚く塗りたくって手術台に昇ったら、あの猪首の医者はなんと言うだろう。いい度胸だと接吻でもしてくれるかもしれない。

電話の呼び鈴が、ず、う、ん、と下腹にこたえた。また冬太郎だろうか。あのまま座り続けていたのだろうか。空咳を一つしておいて受話器をはずすと、空いている手で耳元に連れ合つた長いヘアを押し上げて耳に挟んだ。正気の時の冬太郎が掛けて寄越す時は、佐知子の声を確かめたあと、いつも一つ間を置いて覗れた声で尻下りに、サチコか、と言う。その予感はずれて、ふくの焦つた声がせり上つてきた。

ふくはいきなり、冬太郎さまが大変です、と言う。

「どうしたの？ なにが大変なの？」

「買物から帰ってきましたらね、その、びっくりするじやありませんか？」

「どうしたのよ、いったい？」

焦れつつあった。大変だと言うのはふくの口ぐせだと知っていても、やはり次の言葉に悪い予感を抱いて息を殺してしまう。ふくの語尾のくぐもつた声がまどろっこしくなつて眉根が寄ってくるのが判つた。

「なにを差上げてもお食べにならないのです？」

ふくはやつと言つた。

「お元気がなくて、こう、ぐったりした感じで、お熱もありますよ。いえ、計つたわけでは。わたくしが買物から帰つてみたら廊下の電話のそばに寝ていらしたんです

よ。おまえもすつかり開けっ広げて。奥さまのお宅へ電話なさつたんじやありません？」

ふくは痛いことを言つた。そうらしいとも知らないとも曖昧に言葉を濁している。とふくは言い続けた。ご様子が今日はちよつとヘンですよ、それに奥様にとても違いたがつていらつしやるんです。とふくは語勢を強めた。考えてみると冬太郎さまが違いたがるのも無理はない。義理とは言え娘には違いない奥様が御入院なさつてからこのかたお逢いになれないんですから。とふくは佐知子のせいにしてている。返事の仕様に困つて黙っていると、今からでも出かけて来れないだろうか、何かあつたら困りますから、わたくし。とふくは催促してきた。冬太郎の電話にちよくちよく居留守を使うのは今に始まつたことではない。いるすだけは使わなくてくれよな、サチコ。正気の時に佐知子の顔をまじまじと見てそう言つた老人の悲しそうな目が浮かんでくる。ひるんだ気持になつて佐知子はい言つてしまつた。

「今から行つてみるわ」

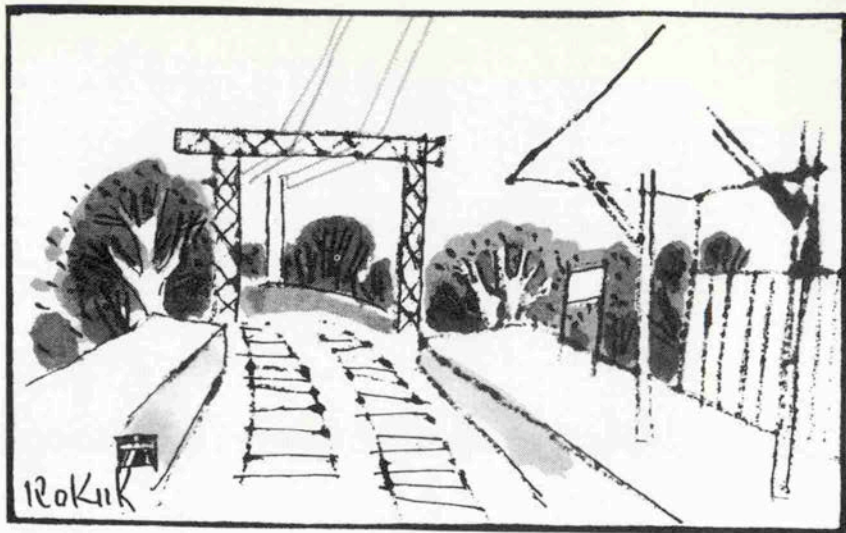
受話器を置いたあとで溜息が出た。ふくにうまうまめられた気がする。

医者に手術をすすめられてもその気にならず、そのあと四カ月近くも症状を放置していたのがだんだん抗し切れなくなり、鈍痛に苦しむのが耐えられなくなって、佐知子はやつと子宮摘出手術に踏み切つた。

手術後、三カ月たつた自分の体はまだ充分に固まりきらない半熟卵みたいなものだ。佐知子は思っている。並みの体に戻るにはまだ当分、間のある危なっかしさと脆さが手足の先や関節の節ぶしにも残つていた。気だるいのを無理に外出着に着替えて階段を下りかけると、しんばりの抜けた瘦せた四股が下から七段目あたりでふうつとふらついてそのまま立ちすくんだ。左手を階段の囲いに添わせて用心しいしい下りていたので、亡り落ちるのは免れたが、この家を買つた時から要が、この階段、亡り

止め付けるか絨緞でも敷かないと危ないね、用心しろよ。口では労わりながら実際には病み上りの妻のために亡り止めの工夫をしようとはしなかった。

今まで住んでいたマンションのすぐ近くに冬太郎の借家があった。佐知子が家探しを始めたのは元はと言えば冬太郎から一思いに逃れたいからだだったが、離れてホッとしたのは当座だけで、老人は逃げ出した佐知子に追い続けるように、電話に執念を籠め始めた。それに訪ねて行くとなると距離が有りすぎて煩わしい。引越した効果は



あまりなかったことになる。冬にしては暖かい色合の空の晴れ具合だったので、電車の停る駅までゆるやかな降り坂道を歩いてみるのも悪くないような気がした。

戸外へ出てみると、案外、空気が引き締って厳しかった。少し歩いただけで佐知子は出て来たことを後悔し始めていた。自分の体が妙に実体がなく、重く澱んだ冬の大気の中に今にも舞い上りそうに思えてくる。いつの間にかこんなに軽がることした浮わついたものになってしまったのだろう。腹の中が奇妙に頼りなかった。果肉のよく熟した大ぶりのデリシャスリンゴくらいに肥大した瘤の塊を抉り出したがらんだ腹の中に、さうさうと冷たい空気が出たり入ったりしていた。下腹にこたえないようにと用心して、踵の低いスエードの柔かい靴を履いて出て来たが、いつもヒールの高いものを履きなれた佐知子には反って歩き辛かった。

雨の少ない冬の乾燥した空気の中に異臭がねっとり絡んで、右手の山沿いの方角から匂ってくる。行く手はかなり大きな鶏舎があった。このあたりは朝夕を除いて日中は車の往来も少なく、あたりが静かなだけにリズムを持たない鶏たちの鳴き声が耳障りで神経を苛立たせる。鶏舎に近づくにつれて、取りとめのない不協和音が巨大なかたまりになってやけに響いてきた。家を買う時は周囲の人為的な立地条件をよく調べ上げてから買うべきだった、と佐知子はあとから気付いていた。あまり見場の良くない百姓家が蜜柑山の裾野に蹲るようになってぼつんとあるとは思っていたのだが、佐知子たちが入居して間もなく、そこは俄か作りの鶏舎に早変りした。当初は二、三十羽も飼っていたらしいのが見るまに膨れ上って、本格的な養鶏場になってしまっていた。風の吹き具合によって、夏など台所で食事していると網戸の隙間から、むうっと胃液が衝き上げてきそうな粘っ濃い悪臭が流れ込んでくることがあった。

「鶏の数をまただいぶ増やす積りらしいね、あそこ」  
「あれ以上増やしてどうする積りかしら」

「空気はいいし、人里離れてるから、環境が鶏に向いているんだらう、ここ」

「それじゃ、あたし達も鶏並みというわけね」

「まあそういうことだろう」

要はほろ苦い笑い方をした。

「とにかく、これ以上は鶏が増えたら困るんだが、抗議するわけにもいかないだろうし」

君が海ばかり見て気に入っちゃったんだから仕方がないだろう。要はそう言いたいのだと佐知子は気が重い。

家の風上に大がかりな鶏舎が建ってしまったのは夫婦にとつて思つてみない計算違いだった。鶏舎の前を足早に通り過ぎると、電車の無人駅までなんとか歩けた。昼前の車内は空いている。隅っこに席を取ってから、電車が軋って動き出すと、佐知子は冷蔵庫に買い溜めていたものの中に冬太郎の好物があったのを思い出した。持つてくれば良かったのに、と思つたが、ごつんと背中が座席の背にぶつかると、気持がつと入れ更つて、今度は妙に腹が立つてきた。冬太郎のいつも使う不真腐れの手管にやすやすと乗せられて、まだ快復期のおぼつかない体を遠出する気になった自分が齒がゆい。何を言つてきても打っちゃつておけば良いのにやはりこうしておめおめと出掛けて行く。蝮と蠍さながらに咬み合い憎しみ合つてきた自分たちの男と女のつびきならぬツケが廻つてきているのだと思つと、佐知子はやはり背中がぞくつとなる。

窓越しに白っぽく乾いた畑が流れている。きちょうめに鋤跡の齒を入れて耕した畑の畝が整然と続く中に、掘りおがした土塊のまま放置した畑も入り混っている。綺麗に均らした畑よりもロクに櫛の目も入れない荒くれた土塊の並ぶ方が暖かく感じられるのはどうしてなのだろうと佐知子は外の風景を目で追いながらぼんやり考えている。まじめ一途で万事氣の小さな要よりも、荒っぽいやい太い神経を持った冬太郎の方が自分の性に合つていたということだろうか。畑の流れは冬太郎への憎しみと愛

を交互に並べ立てた自分の心象風景に思えてくる。

冬枯れの野に裸木の群れが薄ら陽を浴びたまま佇立している。葉群の欠落し尽した枝枝を空に広げた裸木の姿は、空中に巧緻な網を張つた考え深い蜘蛛の巣に似ていた。冬の鈍い陽差しに時どき樹肌が灰白い陰微なときめきを見せて光る。裸木の連なりが流れて行くのを見ていると佐知子はふいに可笑しさがこみ上げてきた。骨の上に渋紙色の皮膚を張りつけた冬太郎の裸形が冬の裸木の上に二重映しに重なっている。樹木に混つて両腕をばんざいのかたち上げて気取っている冬太郎の突つ張つた体の突端にベニスがぶら下がっているのが判る。駄目よ。佐知子はたつた今、腹を立てたのも忘れて笑つた。樹に化けて胡麻化そうたつてそうはゆかないわよ。私を若いあいだ苦しめ弄んだベニスがある限りいくら化けようたつて清らかな樹になどなりきれやしないわよ。

電車の座席は中央に向い合つたかたちで横に流れていた。佐知子の独り笑いを見答めた客は幸い見当らなかつた。女が多いのか派手な色彩が目立つ。すいているせいで乗客はゆつくりとせいたくに席を占めている。佐知子のすぐ真向いに、四十には少し間のありそうな縞の背広の男が、大きく肢を開いて新聞に目を通している。一箇所を丹念に読んでいた。頭の少し張つた自己主張の強そうな男だ。座席を一人分飛ばして、縮れたヘアスタイルの色白い男が気取つた様子で足を組んで、キッドの靴を光らせ、空っぽの目をぼんやり宙に浮かせている。乗物の中でいい感じの男に出逢うと、佐知子はよくいたづらをした。窮屈な背広を脱がせ、赤いネクタイをほどいてゆく。それからズボンを引きむしつてやる。男は女と違つてはいよいよ脱ぎたがるものなのだ。初老に近い男は意地汚なく厚手のもも引まで穿いているので興醒めするから三十も半ばまでの男に大抵は狙いを付ける。若過ぎる男は青臭い体臭が鼻について、その気にはならなかつた。

(つづく)

壁の穴情報 VOL-2 (その2)

Short-necked clams

あさり

Short-necked clams / Champignons

あさり・しめじ

Short-necked clams / Shiitake mushrooms

あさり・しいたけ

Short-necked clams / Champignons / Shiitake mushrooms

あさり・しめじ・しいたけ

Short-necked clams / champignons / Natto soybeans

あさり・しめじ・なっとう

Short-necked clams / Shiitake mushroom / Natto soybeans

あさり・しいたけ・なっとう

Short-necked clams / Champignons / Shiitake mushrooms / Natto soybeans

あさり・しめじ・しいたけ・なっとう

今日は「あさり」のスパゲティのバリエーションを外国人のお客様のメニューから紹介いたしました。私達スタッフは、外国のお客様にも、進んで会話を交わせるように務めております。……

Are you enjoy your meal?

お味の方はよろしゅうございましたか?

この答をお聞きするたびに、仕事に幸福を感じております。サア、あなたも壁の穴コミュニケーションしてみませんか?

東京・渋谷

スパゲティ専門店

Spaghetti



壁の穴

<三宮店>

中央区三宮町1-5 サンロイヤル神戸10F (さんプラザ)

TEL 078-332-4551

営業時間11AM~9PM 第1・3日曜休